

コロナ禍における図書館演習

中川 明日佳*1, 宮木 絵莉子*2

Report on Library Learning in Coronavirus [COVID-19] Pandemic

Asuka NAKAGAWA*1 and Eriko MIYAKI*2

Synopsis: This is a report on the library learning of 2022. As the coronavirus[COVID-19] pandemic continues, we summarize what measures we have taken to carry out library learning.

(Received Sep. 28, 2022)

Key Words: library learning

1. はじめに

本報告は、令和 4 (2022) 年度前期授業内で行った図書館演習についてまとめたものである。本演習は、新型コロナウイルス感染症対策（以下、「コロナ対策」）を講じつつ行った。

以下、コロナ禍における演習の様子を記録しておく。

2. 授業の概要

まずは、授業の概要を以下に示す。

- 科目名：国語基礎 I（一般教養科目，一年次生対象）
- 開講時期：令和 4 (2022) 年度前期
- 受講者数：34 名（機械工学科 14 名，電気電子工学科 13 名，ものづくり創造工学科 7 名）
- クラス編成：4 クラス（木曜 2 限 7 名，木曜 3 限 7 名，金曜 2 限 7 名，金曜 3 限 13 名）

図書館演習は、全 15 回の授業のうち、3・4 回目にあたる週に行った。

3. コロナ対策の概要

ここでは、安全に演習を進めるために、図書館においてどのような対策を行ったかということを紹介する。なお、3.1 は図書館利用時における全体のルールで、令和 2 (2020) 年 5 月より運用されているものである。図書館での演習を行うにあたり、それらに加えて授業用として 3.2 のルールを取り決めた。

3.1 図書館側の対策

- クラスター対策として、入り口正面に記帳台を設置し、入退館の時刻と学籍番号を記録²⁾
- 閲覧席を減らし、席が対面にならないよう配置 (Fig 1)
- 窓を開けるなど、常時換気
- マスク着用，手指消毒の徹底
- 資料の消毒
- 混雑時は時間制による入場規制
- 掲示による注意喚起 (Fig 2)

上記の事柄について、授業内で改めて周知し、徹底することを呼びかけた。

3.2 授業時の対策

- 入退館の記録については、学生が各自で記入

*1 産業技術短期大学 非常勤講師 博士 (文学)

*2 産業技術短期大学 教務課 (図書館司書)



Fig. 1 Reading Seat



Fig. 2 Information in Library

するとなるとかえって入り口付近が密になってしまうため省略し、担当教員が当日の座席表を作成した上で利用人数を図書館側に伝える形に変更する³⁾

- 前もって閲覧席に授業での利用予定を掲示しておき、当日の十分な演習スペースを確保する (Fig 3)
- 授業用に使用する資料は予め専用のブックトラックに用意しておき、不必要な接触を避ける
- ブックトラックには資料の他に専用のアルコール消毒液を用意し、学生には資料を利用するごとに消毒を呼びかける
- これまで館内で着席後に行っていた演習の説明は、入館前に屋外で実施する

- 演習に関する話し合いは必要最低限とし、なるべく接触を減らす
- 演習の課題の提出は、期限を翌週までとし、授業時間外の空いている時間に図書館を利用して作成するのも可とする

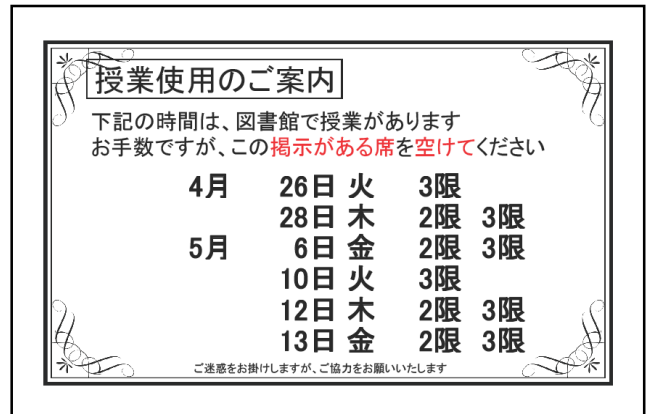


Fig. 3 Information of Desktop

4. 実際の様子

コロナ対策のため、例年以上に多くの注意事項の伝達があり、学生の負担が大きいかもしいと懸念していたが、概ねスムーズに演習を進めることができたように思う。

今回は、新聞と辞書を用いた演習とした。今回、新聞は1紙を選ぶ際に学生が密集しないよう、各紙ごとに離して配置し、選んでもらうようにした。だが、そうすることで各紙を並べて内容を比較することが出来ず、学生が選ぶ際の選択肢を狭めてしまっているように感じた。次年度以降、同じ方式で行う場合には、曜日ごとに各紙を並べるなど配置に工夫したい。

5. おわりに

このコロナ禍においては、課題に合わせて館内資料を自由に利用し、学びを深めるといった従前の方式が取れず、演習内容でもいくつか制限をかけざるを得ない状況が続いている。しかし、そうした状況下でも、図書館とも協力しながら「今できること」を模索し、アクティブ・ラーニングを実践できたことは、大きな糧となったように思う。今後も、図書館側と緊密に連絡を取りながら、より良い演習を作り上げていきたい。

なお、今回の図書館演習においても、本学教員の斎藤安輝先生から多くのご教示を賜った。ここに記して御礼申し上げる次第である。

注

1) 図書館のコロナ対策については、本学の「新型コロナウイルス(covid-19, SARS-CoV-2)対策図書館利用ガイドライン」に沿った運用が為されており、こ

こでは授業での利用時に関する対策を摘記した。

- 2) 入退館時の記録は令和 3 年 3 月 31 日をもって運用を終了しているが、演習における利用ガイドラインの取り決めを行った際には有効であったため、ここに記す。
- 3) 注(2)と同様、途中で運用が変更となったため、図書館への利用人数の通知は取り止めたが、座席表の作成は継続して行った。